



↑ 1 手塩にかけて育てた牛の品評会 2 売店は早朝から長蛇の列ができるほどの大盛況 3 牛の鳴きまね大会では子供たちが絶叫 4 会場では買った肉でバーベキューを楽しむ姿が。

## かづの畜産まつり 早朝から 長蛇の列が

10月15日、鹿角畜産市場構内で「第15回かづの畜産まつり」が開催されました。

小雨が降るなど多少肌寒い日でしたが、会場にはかづの牛の精肉や加工品を求める人が多く訪れ、9時には売店の前に長蛇の列ができるなど大盛況となりました。

また、会場内に設けられた焼き肉コーナーでは、購入した肉でバーベキューを楽しむ家族連れの姿がたくさん見られました。

このほか、生産者が育てた牛の品評会や、せり会場での子どもたちによる牛の鳴きまね大会など、さまざまな催しが行われました。牛のお面をかぶり「モー」と絶叫する子どもたちのかわいい姿に拍手が送られていました。



↑ 1 商店街で行われる迫力のスプリント競技。2 高校男子の部ノルディックコンバインド競技では花輪高校の木村幸大選手が優勝。3 商店街スプリントでは高校生ボランティアも活躍。



## アーケード街を走り抜ける

10月13日～15日、本市で全国ジュニアサマーノルディックスキー大会兼鹿角サマージャンプ・コンバインド大会が開催されました。本格的なスキーシーズンの前哨戦となるこの大会には、市内外から300人を超える選手が集まり、夏場のトレーニングの成果を存分に発揮していました。

14日には花輪商店街をレース会場としたローラースキーのスプリント競技が行われ、アーケード街を力強く走り抜ける選手に、沿道から大きな声援が送られていました。15日にはノルディックコンバインド競技が花輪スキー場で行われ、高校男子の部では花輪高校の木村幸大選手が見事優勝を飾りました。

## 野球の楽しさをプロの経験から学ぶ

10月1日、市営城山野球場で、東北楽天イーグルスによる野球教室が開催され、地元の小・中学生35人が参加し、元プロ選手から楽しく野球を学びました。平成22年に東北楽天イー

グルスと協定を取り交わし、年1回この野球教室を開催することになっていますが、地元の野球少年にはプロを経験した選手から指導を受けることができる貴重な機会となっています。

プロの技を織り交ぜながらの優しい的確な指導に、子どもたちは目を輝かせ、元気よく声を出し、笑顔で野球に取り組んでいました。



↑ 楽しくも緊張感のある指導に、熱心に聞き入る野球少年たち。

## 地域の魅力を伝える 中学生ガイドが八幡平を案内

10月7日～8日に八幡平の後生掛と大沼で八幡平中学校の生徒が観光客に「ボランティアガイド」を行いました。7日はあいにくの雨でしたが、8日は天候に恵まれ、八幡平アスピーテラインに渋滞が出来るほどの観光客が訪れました。ちょうど紅葉が見ごろを迎え、一面が黄色や赤に染

まり美しい景色となりました。ガイドを受けた観光客は、「地域の良さを地域の子どもが伝えるこの取り組みは、素晴らしい」と感嘆していました。また、「何も知らずに見るよりも、いろいろなことを教えてくれて楽しかった」などの声が聞かれました。



↑ わかりやすい口調で丁寧にガイドをこなす中学生に、観光客からは称赞の声が。



↑ 本市の365日死亡事故ゼロ達成は6度目(昭和60年以降)。顕彰を喜ぶ児玉市長と阿部警察署長(写真右)。

## 交通安全活動の取り組みが評価 交通死亡事故 ゼロを顕彰

本市は、9月10日に交通死亡事故ゼロ365日を達成し、秋田県警察本部から顕彰を受けました。

10月3日、市役所で顕彰伝達式が行われ、阿部鹿角警察署長から児玉市長に顕彰状が贈られました。児玉市長は「市民と一緒に交通安全に取り組んできた成果。引き続き、交通死亡事故ゼロを目指し、市民一丸となって取り組んでいきたい」と抱負を述べました。暗くなるのが早い時期となりましたので、特に夕方の交通安全に気を付けましょう。